

### 3. 知的障害者生活状況調査（18歳以上）結果

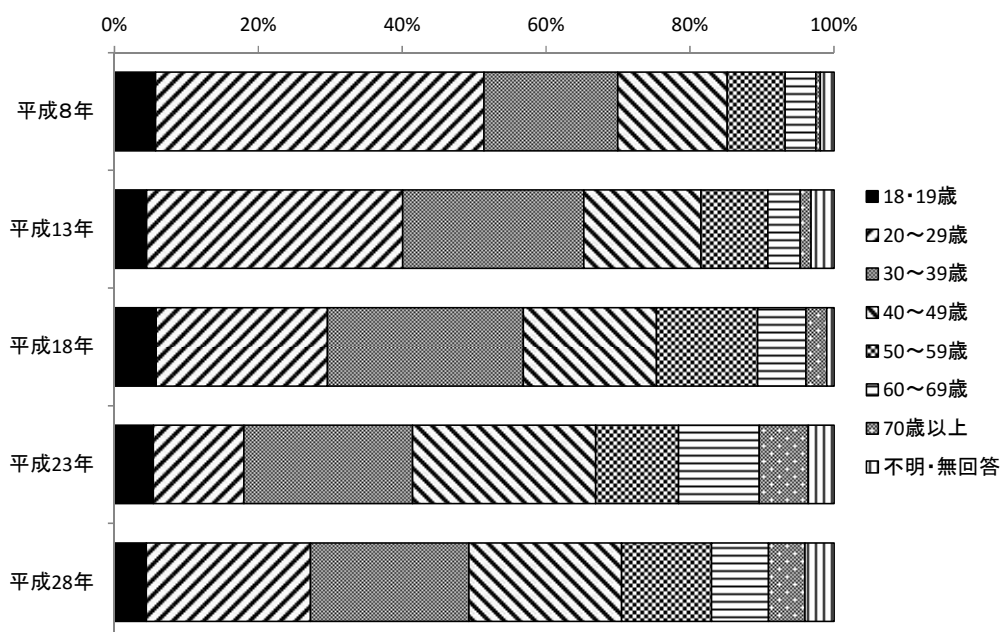
#### ●年齢

年齢構成は、「20～29歳」が22.8%と最も多く、次いで「30～39歳」は22.0%、「40～49歳」が21.2%となっている。

#### 問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
18・19歳	5.7	4.5	5.8	5.4	4.4
20～29歳	45.6	35.6	23.8	12.6	22.8
30～39歳	18.6	25.2	27.2	23.4	22.0
40～49歳	15.2	16.3	18.5	25.5	21.2
50～59歳	8.0	9.3	14.1	11.5	12.5
60～64歳	4.3	2.9	3.8	6.5	4.5
65～69歳		1.6	2.9	4.7	3.4
70歳以上	0.6	1.5	2.9	6.8	5.1
不明・無回答	1.9	3.2	1.0	3.6	4.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495



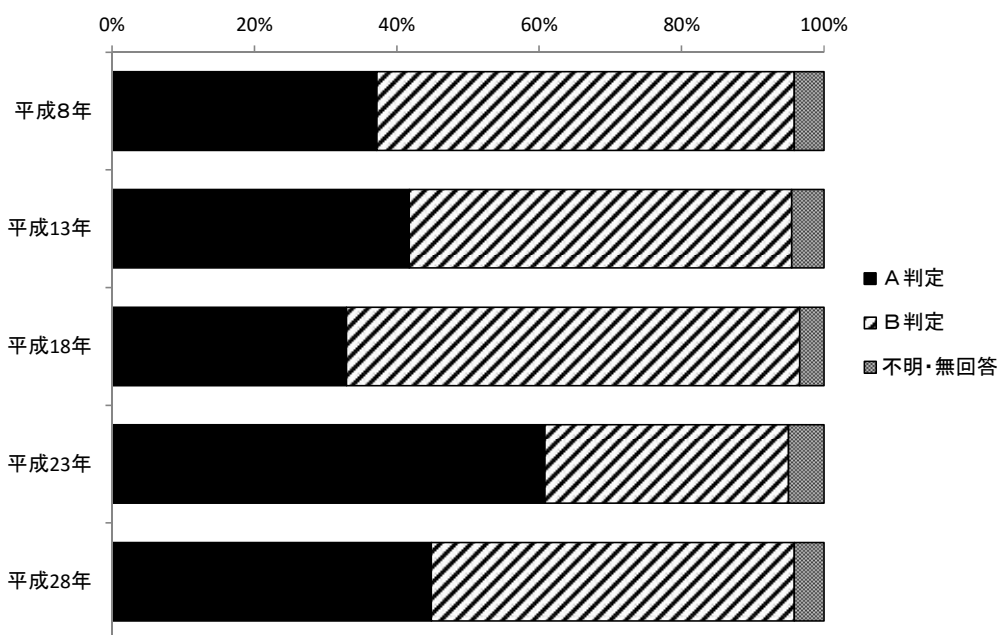
●障害の程度等

療育手帳の判定では、「A判定」が44.8%、「B判定」が50.9%となっている。

問6 療育手帳の判定

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
A判定	37.2	41.7	32.9	60.8	44.8
B判定	58.6	53.8	63.7	34.2	50.9
不明・無回答	4.2	4.5	3.4	5.0	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495

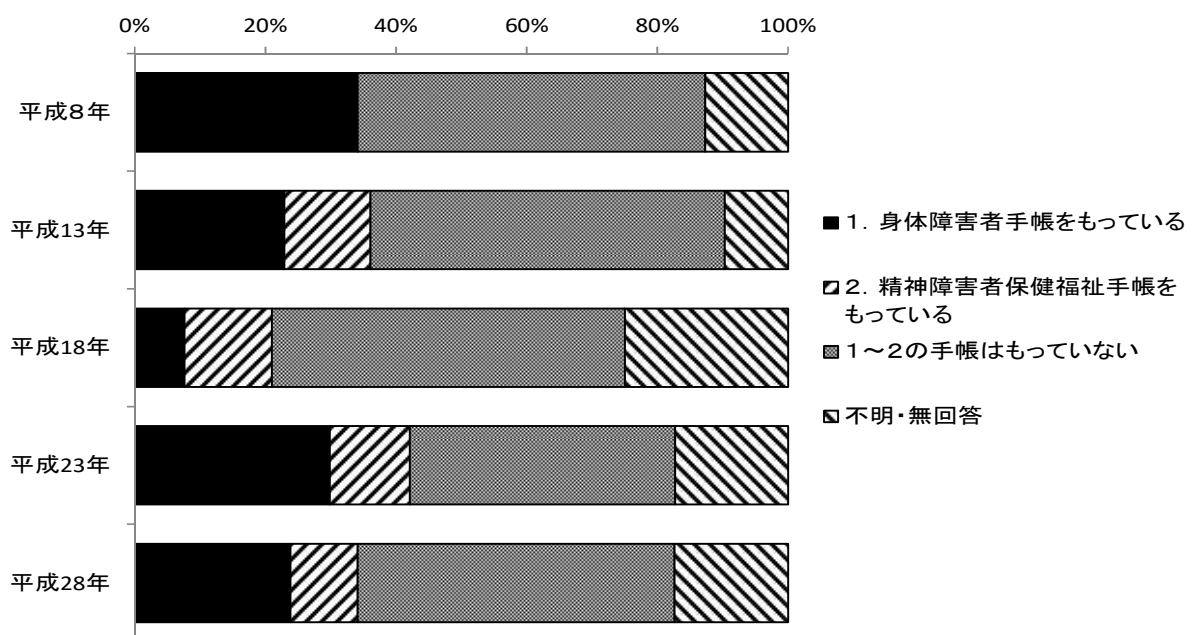


手帳等の有無では、「身体障害者手帳をもっている」が23.8%、「精神障害者保健福祉手帳をもっている」が10.3%となっている。

### 問8 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の有無

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1. 身体障害者手帳をもっている	34.1	22.9	7.6	29.9	23.8
2. 精神障害者保健福祉手帳をもっている	-	13.2	13.4	12.2	10.3
1～2の手帳はもっていない	53.1	54.2	54.1	40.6	48.5
不明・無回答	12.7	9.7	25.0	17.3	17.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495



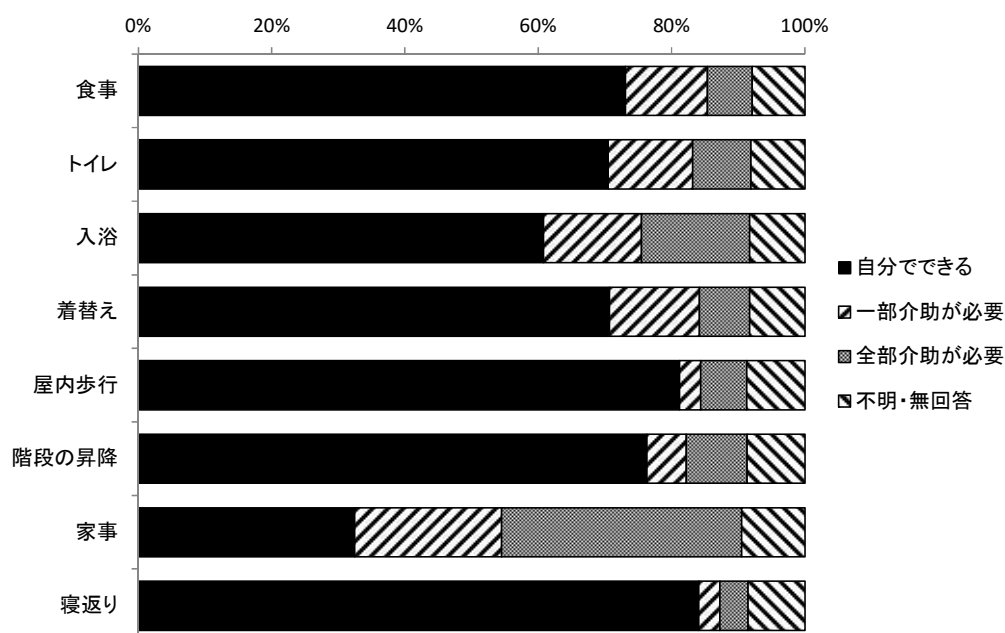
## ●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）とする人の割合が高いものは、「家事」で58.0%，次いで、「入浴」が30.9%となっている。

問15 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
自分でできる	73.1		70.5		60.8		70.7		81.2		76.4		32.5		84.0	
一部介助が必要	12.3	19.0	12.7	21.4	14.7	30.9	13.5	21.0	3.2	10.1	5.9	15.0	22.0	58.0	3.2	7.4
全部介助が必要	6.7		8.7		16.2		7.5		6.9		9.1		36.0		4.2	
不明・無回答	7.9		8.1		8.3		8.3		8.7		8.7		9.5		8.5	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	495		495		495		495		495		495		495		495	



主な介助者は、「父・母」が61.3%で最も多く、次いで「入所施設、グループホーム等の職員」が17.8%、「ホームヘルパー」が6.1%と続いている。

### 問16-1 主な介助者

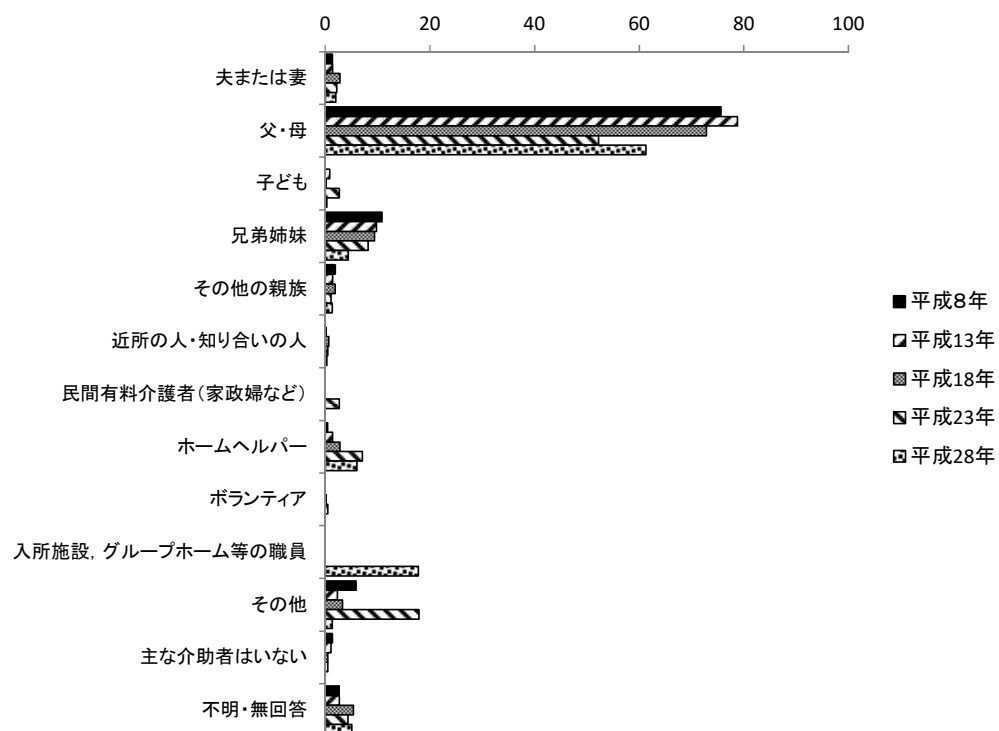
(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
夫または妻	1.4	1.4	2.8	2.2	2.0
父・母 *1	75.6	78.8	72.8	52.2	61.3
子ども	0.0	0.9	0.2	2.7	0.3
兄弟姉妹	10.9	9.8	9.4	8.2	4.4
その他の親族 *2	1.9	1.4	1.9	1.1	1.3
近所の人・知り合いの人	0.0	0.2	0.7	0.5	0.3
民間有料介護者(家政婦など)	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
ホームヘルパー	0.5	1.4	2.8	7.1	6.1
ボランティア	-	0.0	0.2	0.5	0.0
入所施設、グループホーム等の職員 *3	-	-	-	-	17.8
その他	5.9	2.3	3.3	17.9	1.3
主な介助者はいない	1.4	1.1	0.5	0.5	0.0
不明・無回答	2.7	2.7	5.4	4.3	5.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	221	437	426	184	297

\*1 平成13年は「父」、「母」を足した数値

\*2 平成8年、13年は「祖父母」と「その他の親族」を足した数値

\*3 平成28年追加項目

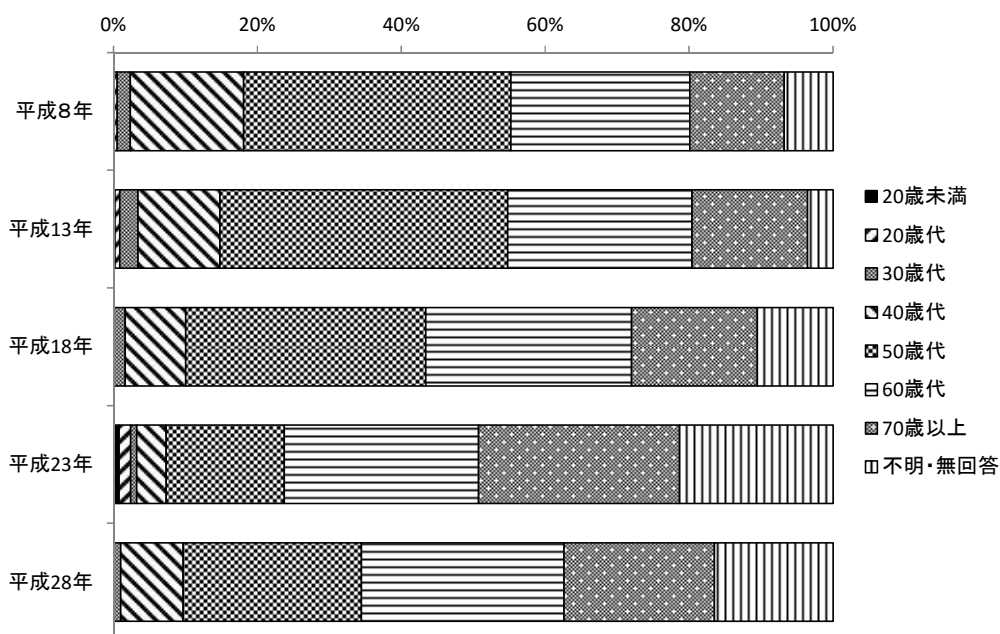


主な介助者の年齢は、「60歳代」が28.2%、「50歳代」が24.8%、「70歳以上」が20.9%となっている。

### 問17-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
20歳未満	0.0	0.2	0.0	0.8	0.0
20歳代	0.5	0.7	0.0	1.6	0.0
30歳代	1.8	2.5	1.6	0.8	1.0
40歳代	15.8	11.4	8.4	4.1	8.7
50歳代	37.1	40.0	33.4	16.4	24.8
60歳代	24.9	25.6	28.6	27.0	28.2
70歳以上	13.1	16.1	17.5	27.9	20.9
不明・無回答	6.8	3.5	10.5	21.3	16.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	221	403	371	122	206



## ●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況について、ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）は、「必要がないので利用したことがない」が40.0%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が18.0%となっている。

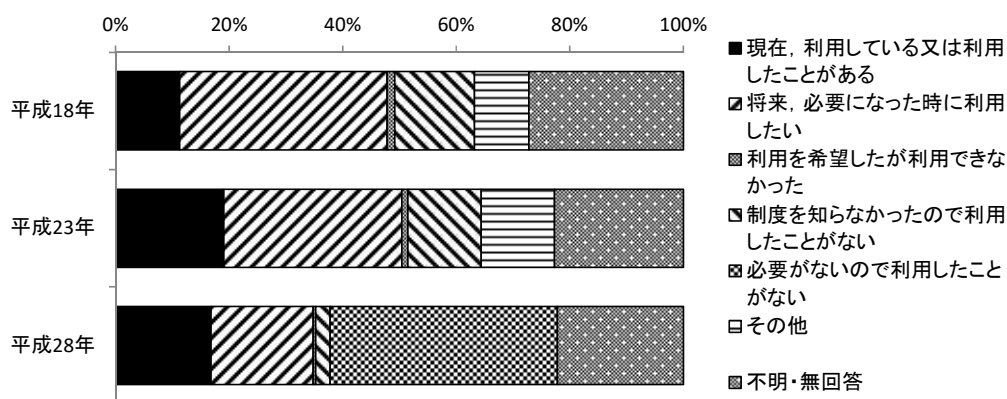
### 問18（1） ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	11.3	19.1	16.8
将来、必要になった時に利用したい	36.5	31.3	18.0
利用を希望したが利用できなかった	1.4	1.1	0.4
制度を知らなかったので利用したことがない	14.0	12.9	2.6
必要がないので利用したことがない*1	-	-	40.0
その他*2	9.6	12.9	-
不明・無回答	27.2	22.7	22.2
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495

\*1 平成28年追加項目

\*2 平成28年は項目なし



短期入所（ショートステイ）は、「必要がないので利用したことがない」が39.8%で最も多く、次いで「現在、利用している又は利用したことがある」が20.0%となっている。

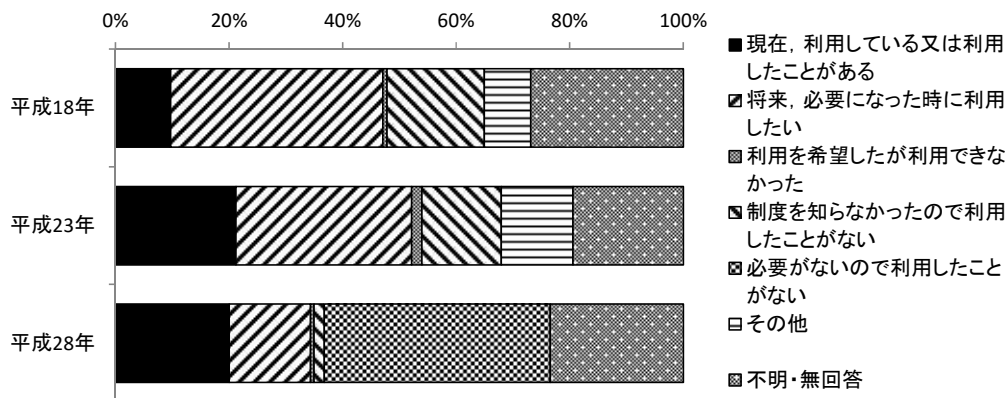
### 問18(2) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	9.7	21.2	20.0
将来、必要になった時に利用したい	37.3	30.9	14.3
利用を希望したが利用できなかった	0.8	1.8	0.6
制度を知らなかったので利用したことがない	17.1	14.0	1.8
必要がないので利用したことがない *1	-	-	39.8
その他 *2	8.2	12.6	-
不明・無回答	26.8	19.4	23.4
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495

\*1 平成28年追加項目

\*2 平成28年は項目なし





生活介護は、「必要がないので利用したことがない」が41.2%で最も多く、次いで「現在、利用している又は利用したことがある」が14.9%、「将来、必要になった時に利用したい」が13.5%となっている。

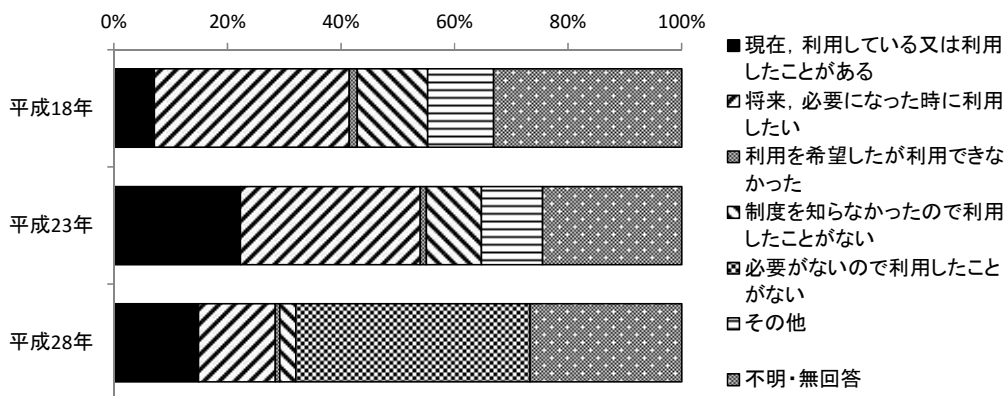
### 問18(3) 生活介護の利用状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	7.1	22.3	14.9
将来、必要になった時に利用したい	34.3	31.7	13.5
利用を希望したが利用できなかった	1.4	1.1	0.8
制度を知らなかったので利用したことがない	12.4	9.7	2.8
必要がないので利用したことがない *1	-	-	41.2
その他 *2	11.6	10.8	-
不明・無回答	33.1	24.5	26.7
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495

\*1 平成28年追加項目

\*2 平成28年は項目なし

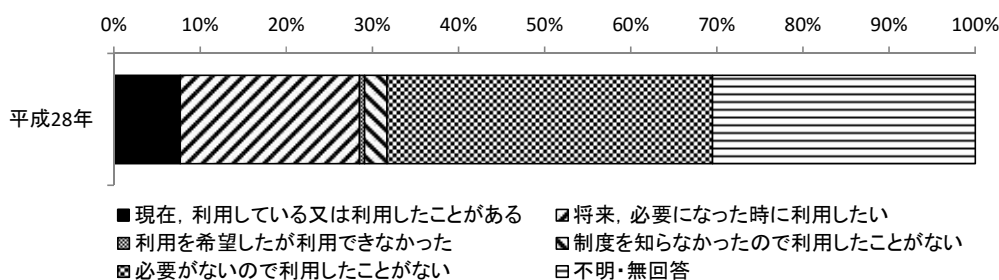


共同生活援助（グループホーム）は、「必要がないので利用したことがない」が37.8%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が20.8%、「現在、利用している又は利用したことがある」が7.7%となっている。

### 問18(10) 共同生活援助（グループホーム）の利用状況

(単位：%)

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	7.7
将来、必要になった時に利用したい	20.8
利用を希望したが利用できなかった	0.6
制度を知らなかったので利用したことがない	2.6
必要がないので利用したことがない	37.8
不明・無回答	30.5
合計	100.0
n	495

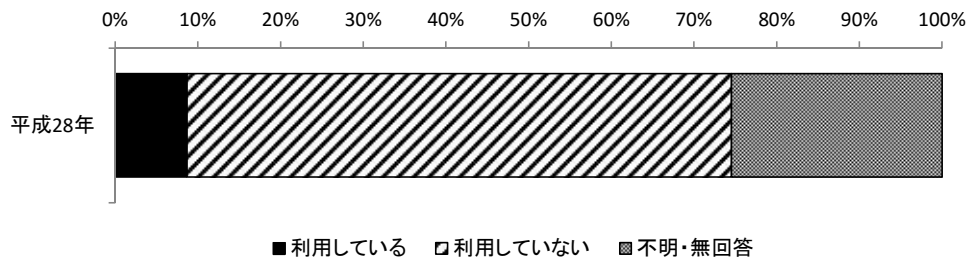


介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が8.7%、「利用していない」が65.9%となっている。

### 問 2 2 介護保険サービスの利用の有無

(単位：%)

	平成 28 年
利用している	8.7
利用していない	65.9
不明・無回答	25.5
合計	100.0
n	495

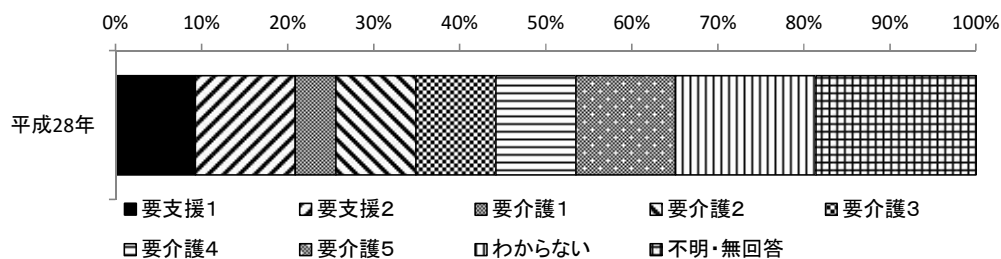


要介護認定区分は、「わからない」が16.3%で最も多く、次いで「要支援2」と「要介護5」がともに11.6%となっている。

### 問 2 3 - 1 要介護認定区分

(単位：%)

	平成 28 年
要支援 1	9.3
要支援 2	11.6
要介護 1	4.7
要介護 2	9.3
要介護 3	9.3
要介護 4	9.3
要介護 5	11.6
わからない	16.3
不明・無回答	18.6
合計	100.0
n	43

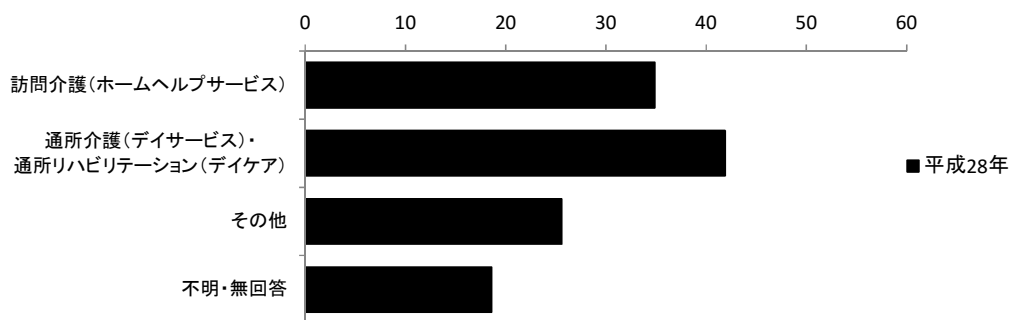


利用している介護保険サービスについては、「通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）」が41.9%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が34.9%、「その他」が25.6%となっている。

問23-2 利用している介護保険サービス（複数回答）

(単位：%)

	平成28年
訪問介護（ホームヘルプサービス）	34.9
通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）	41.9
その他	25.6
不明・無回答	18.6
合計	121.0
n	43



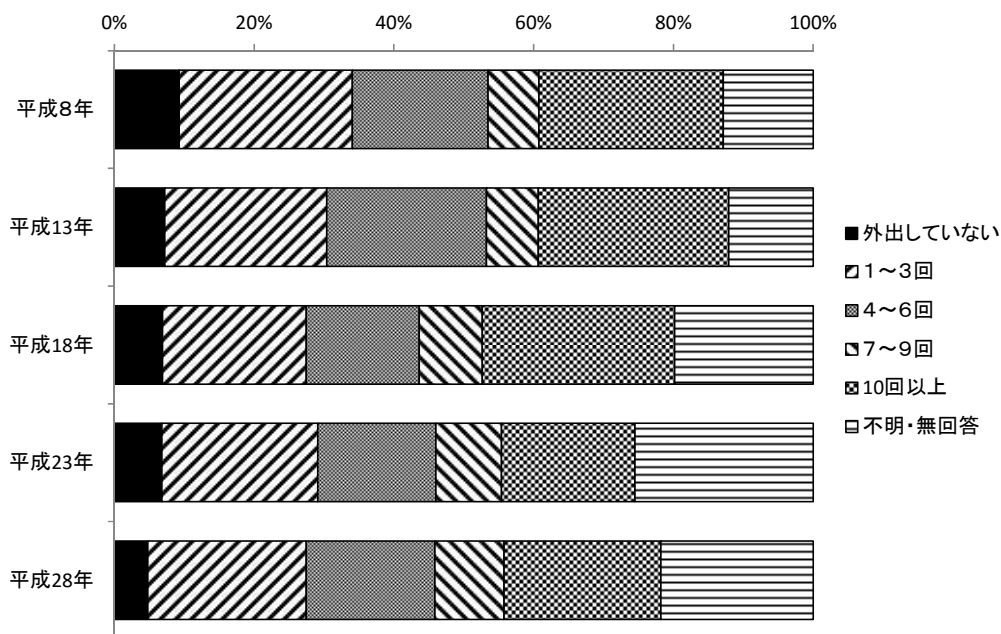
## ●外出の状況

外出回数（仕事・通学以外の場合）については、「月に1～3回」が22.6%と最も多く、次いで「月に10回以上」が22.4%となっている。1か月の外出回数が3回以下の割合が約3割となっている。

問24(2) 仕事・通学以外の場合の外出回数

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
外出していない	9.3	7.2	6.9	6.8	4.8
1～3回	24.8	23.2	20.5	22.3	22.6
4～6回	19.4	22.9	16.2	16.9	18.4
7～9回	7.3	7.4	9.0	9.4	9.9
10回以上	26.4	27.3	27.5	19.1	22.4
不明・無回答	12.9	12.1	19.8	25.5	21.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495



外出の際の問題点（複数回答）については、「電車の遅れや急な停止，その他通常以外の事態が起こった時に，強い不安を感じたりパニックになったりする」が21.6%と最も多く，次いで「道路や駅に階段や段差が多い」「車などに危険を感じる」が共に16.8%となっている。

問26-1 外出の際の問題点（複数回答3つまで）

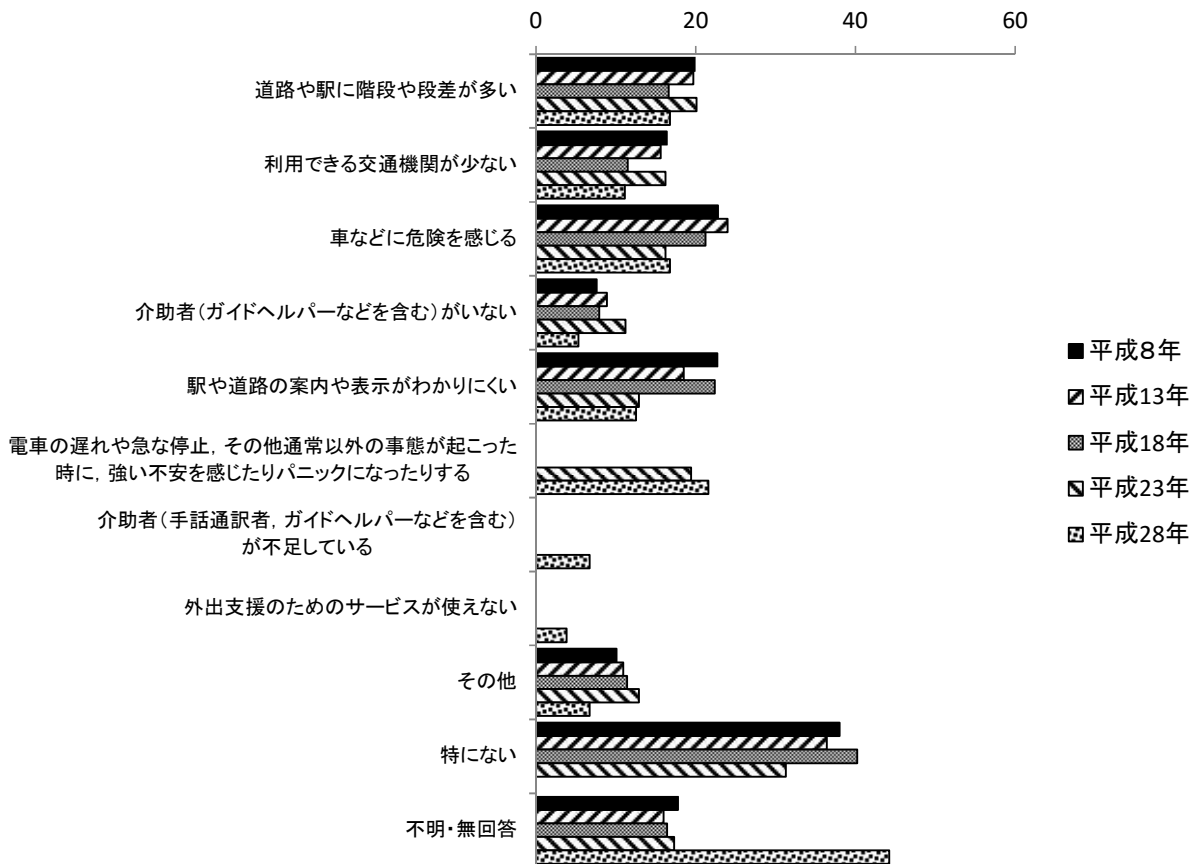
（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
道路や駅に階段や段差が多い	19.9	19.7	16.6	20.1	16.8
利用できる交通機関が少ない	16.4	15.6	11.5	16.2	11.1
車などに危険を感じる	22.8	24.0	21.2	16.2	16.8
介助者（ガイドヘルパーなどを含む）がいない	7.6	8.9	7.9	11.2	5.3
駅や道路の案内や表示がわかりにくい	22.7	18.5	22.4	12.9	12.5
電車の遅れや急な停止，その他通常以外の事態が起こった時に，強い不安を感じたりパニックになったりする *1	-	-	-	19.4	21.6
介助者（手話通訳者，ガイドヘルパーなどを含む）が不足している *2	-	-	-	-	6.7
外出支援のためのサービスが使えない *2	-	-	-	-	3.8
その他	10.1	10.9	11.4	12.9	6.7
特になし*3	38.0	36.4	40.2	31.3	-
不明・無回答	17.8	16.0	16.4	17.3	44.2
合計	155.3	150.1	147.5	157.5	145.5
n	785	755	764	278	495

\*1 平成23年追加項目

\*2 平成28年追加項目

\*3 平成28年は項目なし



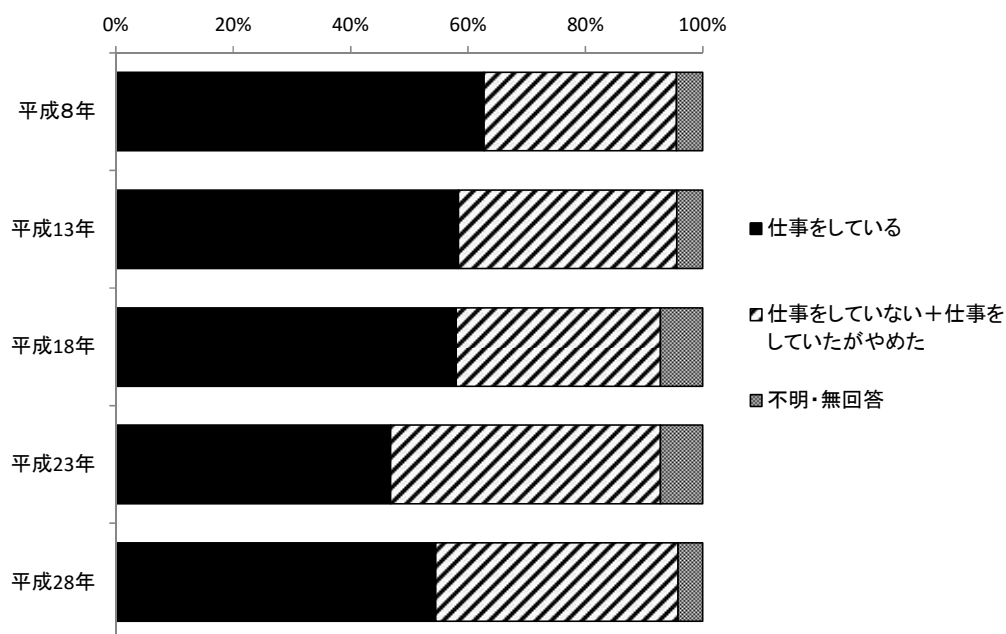
## ●就労（仕事）・収入の状況

就労状況については、「仕事をしている」が54.5%、「仕事をしていない」が36.0%、「仕事をしていなかったがやめた」が5.3%となっている。

### 問 2 7 就労状況

(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
仕事をしている	62.7	58.4	58.0	46.8	54.5
仕事をしていない	32.7	37.2	28.8	41.7	36.0
仕事をしていなかったがやめた			6.0	4.3	5.3
不明・無回答	4.5	4.4	7.2	7.2	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	770	755	764	278	495



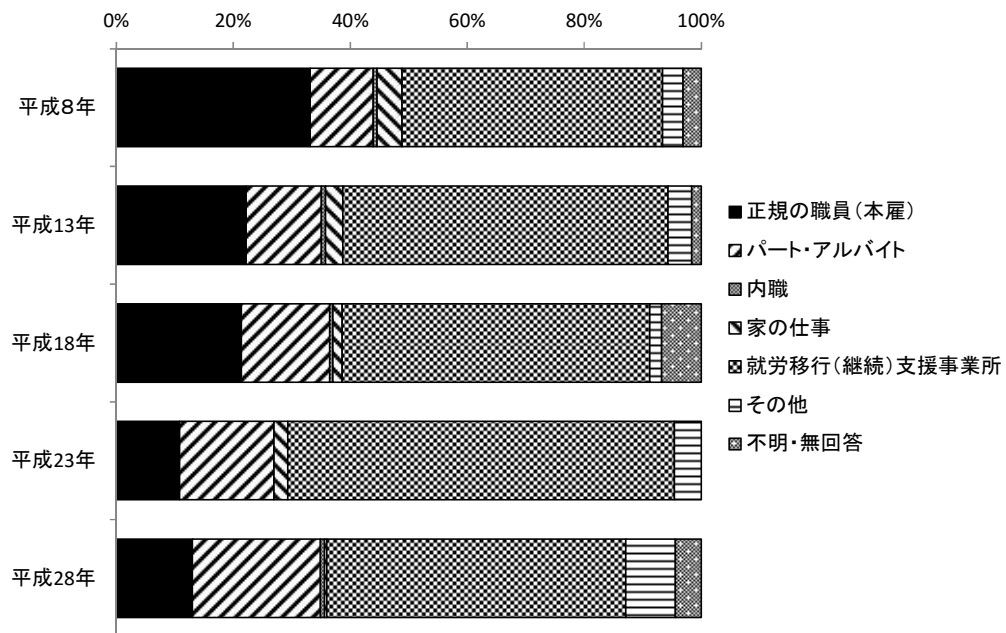
就労している人の就労形態については、「就労移行（継続）支援事業所」が51.1%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が21.9%となっている。

### 問 2 8 - 3 就労形態

(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
正規の職員（本雇）	33.1	22.2	21.4	10.8	13.0
パート・アルバイト	10.8	12.9	15.1	16.2	21.9
内職	0.6	0.7	0.5	0.0	0.7
家の仕事	4.3	2.9	1.6	2.3	0.4
就労移行（継続）支援事業所 *	44.5	55.6	52.6	66.2	51.1
その他	3.5	4.1	2.0	4.6	8.5
不明・無回答	3.1	1.6	6.8	0.0	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	483	441	443	130	270

\* 平成 8 年，平成 13 年は「授産施設・共同作業所など」  
平成 23 年は「就労移行（継続）支援事業所，授産施設，共同作業所など」，平成 18 年までは「授産施設，共同作業所など」

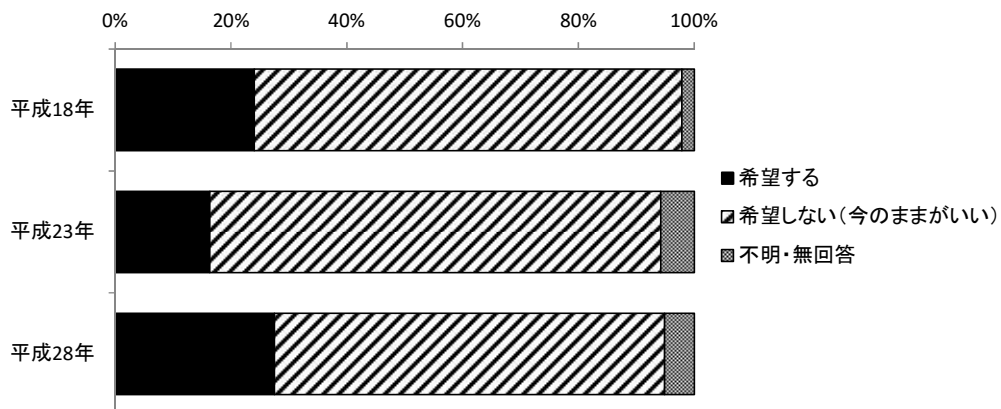


就労移行（継続）支援事業所で働く人のうち、企業での就労を「希望する」人は27.5%となっている。

### 問28-4-1 企業での就労希望の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
希望する	24.0	16.3	27.5
希望しない(今のままだいい)	73.8	77.9	67.4
不明・無回答	2.1	5.8	5.1
合計	100.0	100.0	100.0
n	233	86	138

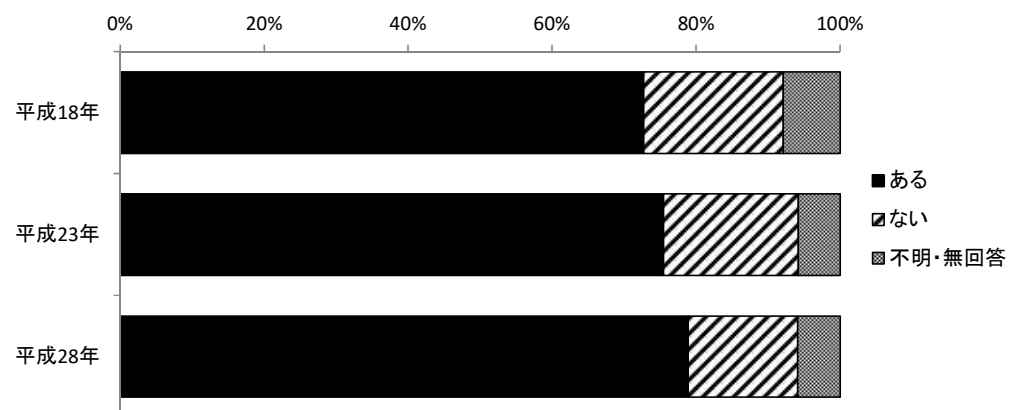


収入の有無では、「ある」が79.0%、「ない」が15.2%となっている。

### 問31 収入の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
ある	72.8	75.5	79.0
ない	19.4	18.7	15.2
不明・無回答	7.9	5.8	5.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495



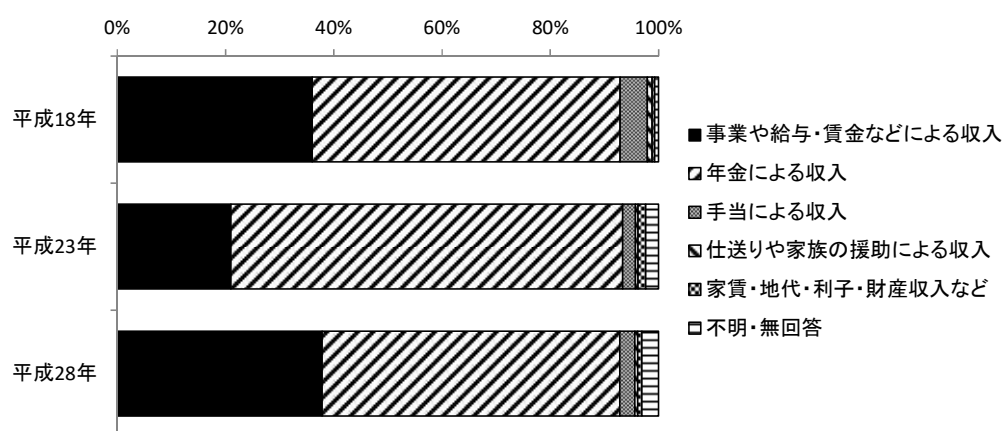


収入の種類では、「年金による収入」が55.0%で最も多く、次いで「事業や給与・賃金などによる収入」が37.9%となっている。

### 問32-1 収入の種類

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
事業や給与・賃金などによる収入	36.0	21.0	37.9
年金による収入	56.8	72.4	55.0
手当による収入	5.0	2.4	2.8
仕送りや家族の援助による収入	0.9	0.5	0.5
家賃・地代・利子・財産収入など	0.5	1.4	0.8
不明・無回答	0.7	2.4	3.1
合計	100.0	100.0	100.0
n	556	210	391

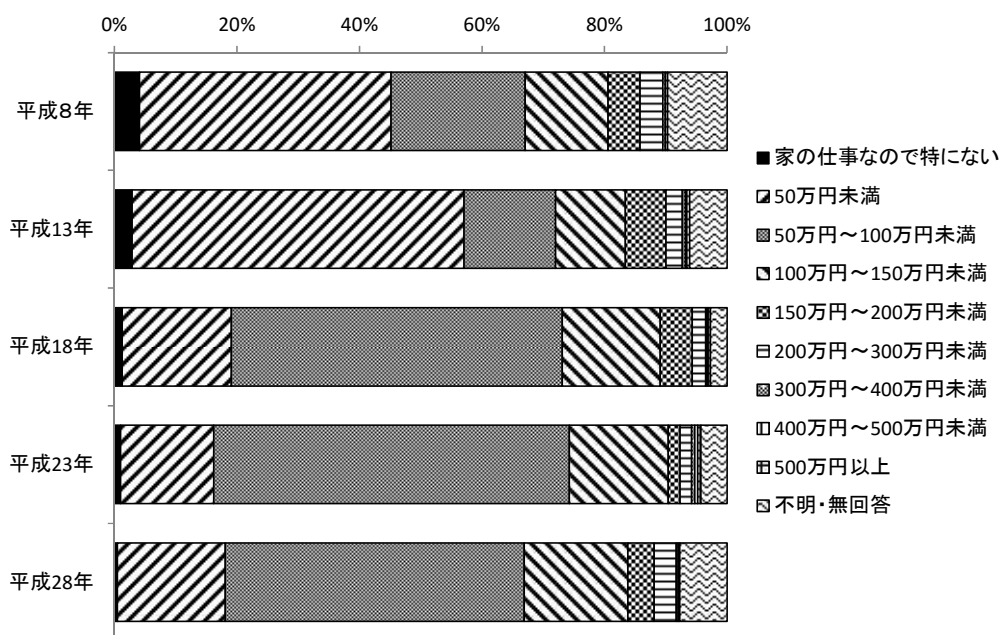


収入の額では、「50万円～100万円未満」が48.8%で最も多く、次いで「50万円未満」が17.6%などとなっており、「100万円未満」が約7割を占めている。

### 問3 2-2 収入額

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
家の仕事なので特にない	4.1	2.9	1.3	1.0	0.5
50万円未満	41.0	54.2	17.8	15.2	17.6
50万円～100万円未満	21.9	15.0	54.1	58.1	48.8
100万円～150万円未満	13.5	11.4	16.0	16.2	16.9
150万円～200万円未満	5.2	6.6	5.2	1.9	4.3
200万円～300万円未満	3.7	2.7	2.2	1.9	3.6
300万円～400万円未満	0.4	0.5	0.2	0.5	0.3
400万円～500万円未満	0.0	0.2	0.2	0.5	0.0
500万円以上	0.4	0.5	0.4	0.5	0.3
不明・無回答	9.7	6.1	2.7	4.3	7.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	483	441	556	210	391



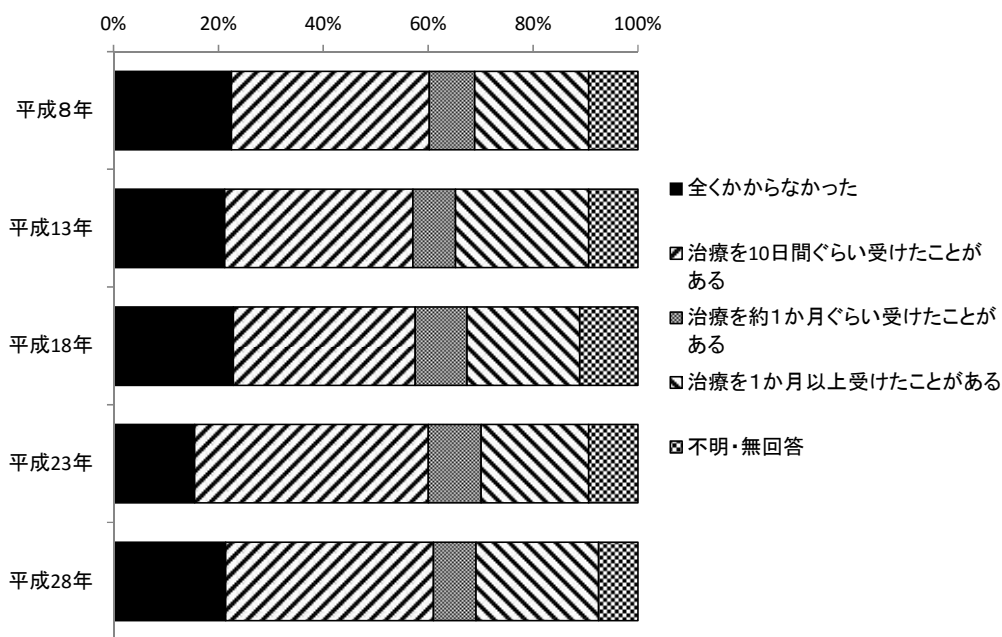
## ●健康・医療などの状況

過去1年間の治療の状況については、「治療を10日間ぐらい受けたことがある」が39.6%で最も多く、次いで「治療を1か月以上受けたことがある」が23.4%となっている。“治療を受けた”人の合計は、約7割を占めている。

問34 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
全くかからなかった	22.5	21.2	22.9	15.5	21.4
治療を10日間ぐらい受けたことがある	37.7	35.9	34.6	44.6	39.6
治療を約1か月ぐらい受けたことがある	8.7	8.1	9.9	10.1	8.1
治療を1か月以上受けたことがある	21.7	25.4	21.5	20.5	23.4
不明・無回答	9.4	9.4	11.1	9.4	7.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495



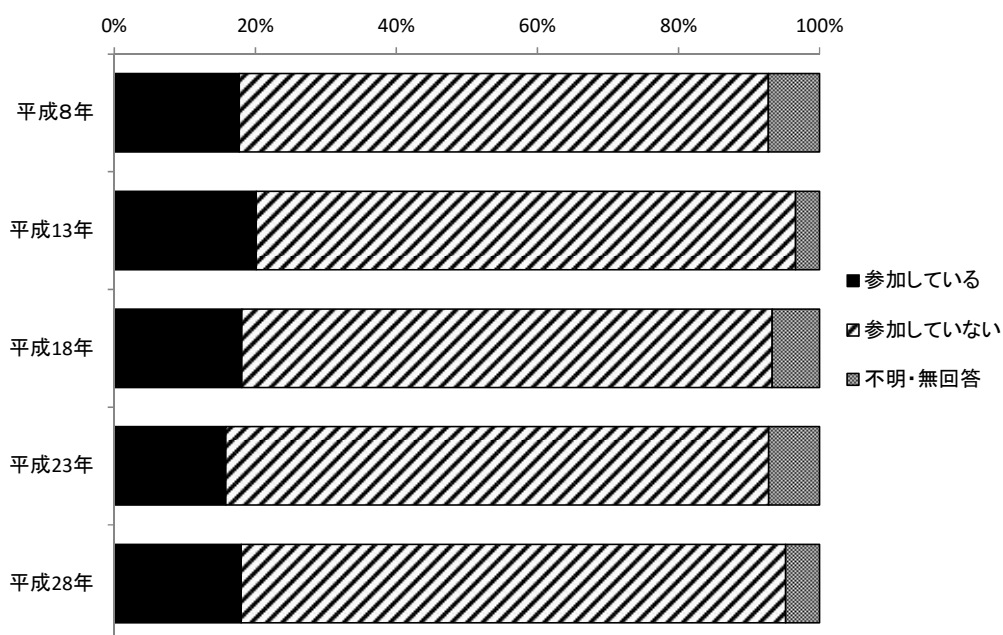
## ●社会参加の状況

スポーツや文化活動などの社会活動に「参加している」人は18.0%、「参加していない」人は77.2%となっている。

問37 スポーツや文化活動など社会活動参加状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
参加している	17.7	20.1	18.1	15.8	18.0
参加していない	75.0	76.4	75.3	77.0	77.2
不明・無回答	7.3	3.4	6.7	7.2	4.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495



参加していない理由（複数回答）については、「一緒に参加する仲間がいないから」が24.6%で最も多く、次いで「時間的なゆとりがないから」が23.3%となっている。

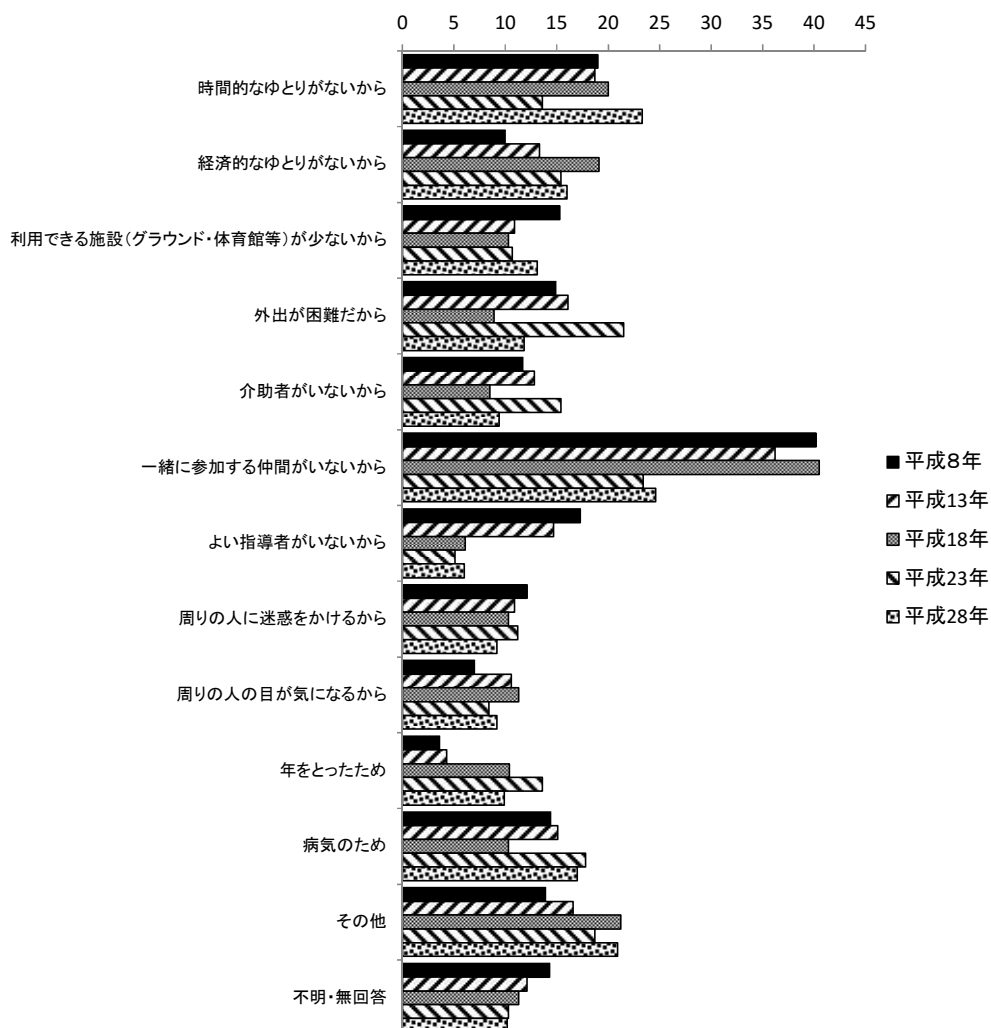
問39-1 社会活動に参加していない理由（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
時間的なゆとりがないから	19.0	18.7	20.0	13.6	23.3
経済的なゆとりがないから	10.0	13.3	19.1	15.4	16.0
利用できる施設（グラウンド・体育館等）が少ないから	15.3	10.9	10.3	10.7	13.1
外出が困難だから	14.9	16.1	8.9	21.5	11.8
介助者がいないから *1	11.7	12.8	8.5	15.4	9.4
一緒に参加する仲間がいないから	40.2	36.2	40.5	23.4	24.6
よい指導者がいないから *2	17.3	14.7	6.1	5.1	6.0
周りの人に迷惑をかけるから	12.1	10.9	10.3	11.2	9.2
周りの人の目が気になるから	7.0	10.6	11.3	8.4	9.2
年をとったため	3.6	4.3	10.4	13.6	9.9
病気のため	14.4	15.1	10.3	17.8	17.0
その他	13.9	16.6	21.2	18.7	20.9
不明・無回答	14.3	12.1	11.3	10.3	10.2
合計	193.7	192.3	188.2	185.1	180.6
n	589	577	575	214	382

\*1 平成8年、13年は「介助者が得にくい」

\*2 平成8年、13年は「適切な指導者がいない」



## ●災害時の対応

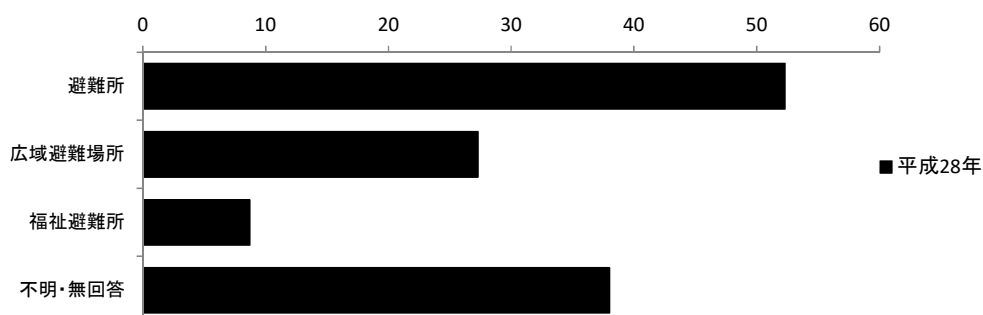
避難場所の認知（複数回答）については、「避難所」が52.3%で最も多く、次いで「広域避難場所」が27.3%、「福祉避難所」が8.7%となっている。

問40 避難場所の認知（複数回答）\*

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	17.6	18.3	16.8	25.5	-
「一時避難場所」だけ知っている	12.6	11.5	12.7	9.4	-
「広域避難場所」だけ知っている	10.3	9.4	8.6	9.0	-
両方とも知らない	51.2	50.7	54.2	47.5	-
避難所	-	-	-	-	52.3
広域避難場所	-	-	-	-	27.3
福祉避難所	-	-	-	-	8.7
不明・無回答	8.3	10.1	7.7	8.6	38.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	126.3
n	785	755	764	278	495

\* 平成23年までは単数回答

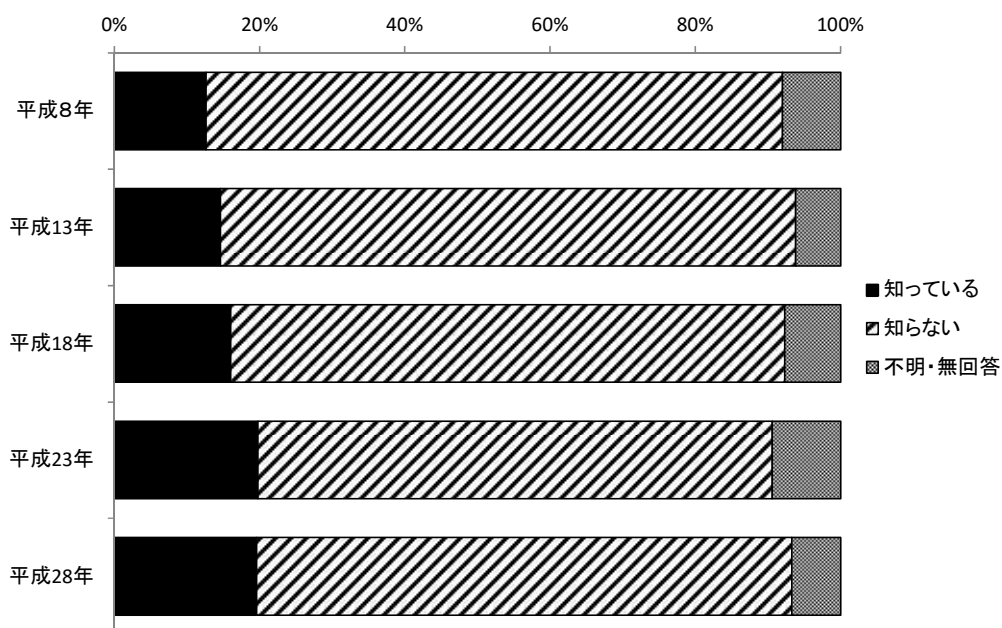


自主防災組織の認知については、「知っている」が19.6%、「知らない」が73.7%となっている。

#### 問 4 2 自主防災組織の認知

(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
知っている	12.6	14.6	16.0	19.8	19.6
知らない	79.4	79.2	76.3	70.9	73.7
不明・無回答	8.0	6.2	7.7	9.4	6.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	785	755	764	278	495

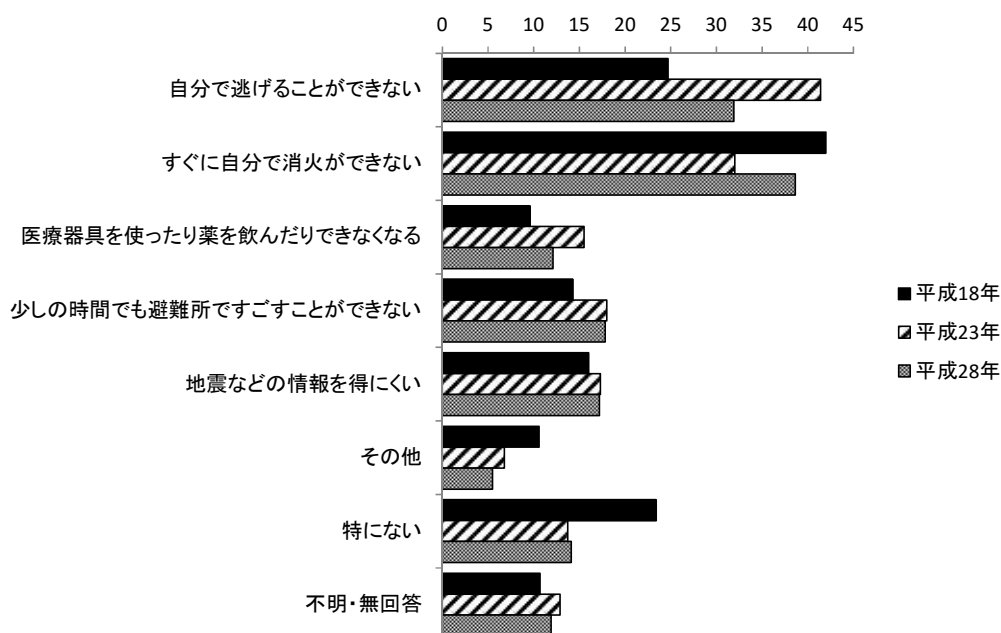


災害時の不安（複数回答）については、「すぐに自分で消火ができない」が38.6%で最も多く、次いで「自分で逃げるのができない」が31.9%となっている。

#### 問46 災害時の不安（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
自分で逃げるのができない	24.7	41.4	31.9
すぐに自分で消火ができない	42.0	32.0	38.6
医療器具を使ったり薬を飲んだりできなくなる	9.6	15.5	12.1
少しの時間でも避難所ですぐすことができない	14.3	18.0	17.8
地震などの情報を得にくい	16.0	17.3	17.2
その他	10.6	6.8	5.5
特にない	23.4	13.7	14.1
不明・無回答	10.7	12.9	11.9
合計	151.3	157.6	149.1
n	764	278	495





## ●福祉施策への要望など

福祉施策への要望（複数回答）については、「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金・手当を増やしてほしい」が36.8%と最も多く、次いで「社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい」が33.9%となっている。

### 問53 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

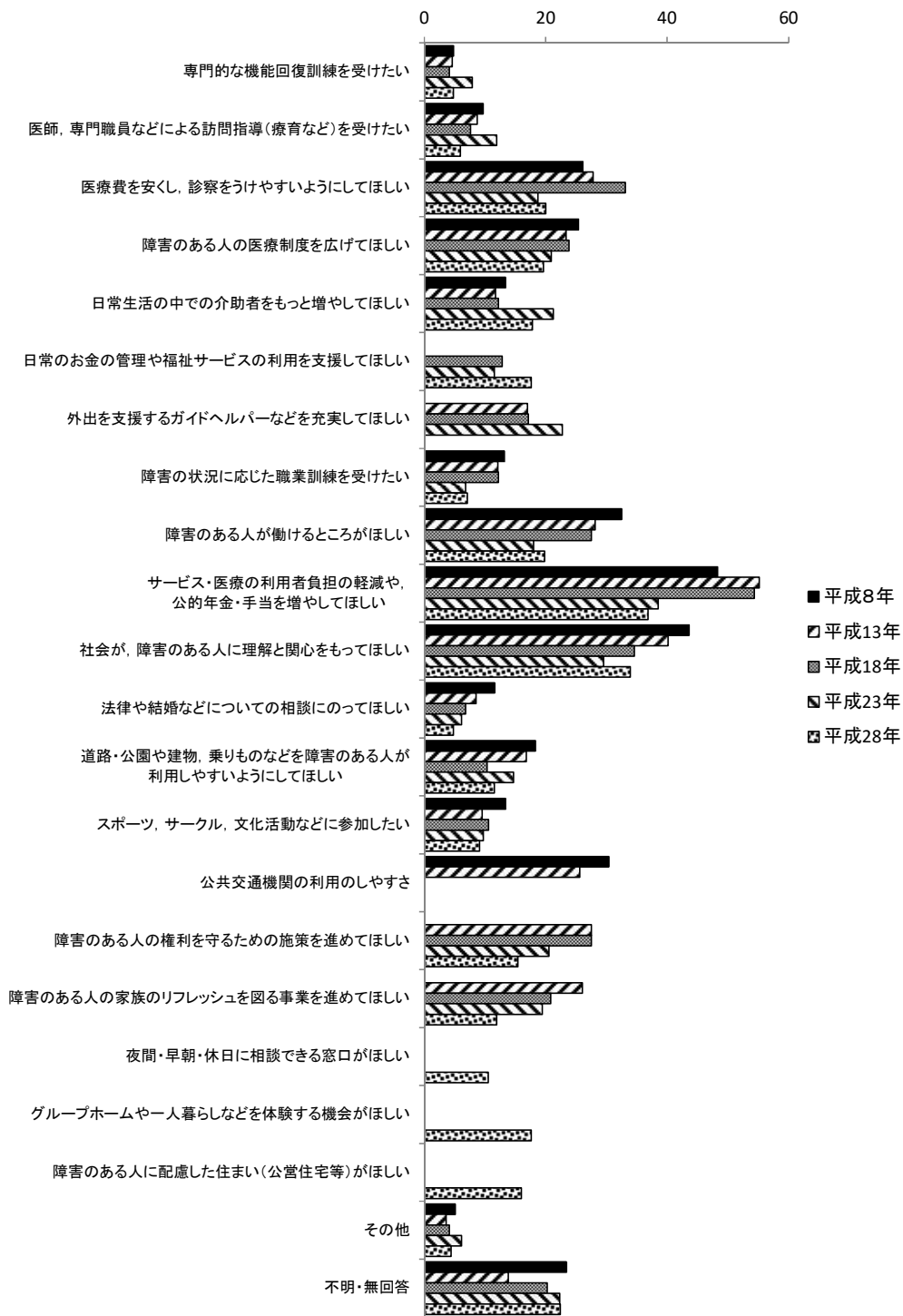
	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
専門的な機能回復訓練を受けたい	4.8	4.6	4.1	7.9	4.8
医師、専門職員などによる訪問指導（療育など）を受けたい	9.7	8.7	7.6	11.9	5.9
医療費を安くし、診察をうけやすいようにしてほしい	26.1	27.8	33.1	18.7	20.0
障害のある人の医療制度を広げてほしい	25.4	23.3	23.8	20.9	19.6
日常生活の中での介助者をもっと増やしてほしい	13.4	11.7	12.2	21.2	17.8
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい*1	-	-	12.8	11.5	17.6
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい*2	-	17.0	17.1	22.7	-
障害の状況に応じた職業訓練を受けたい	13.2	12.1	12.2	6.8	7.1
障害のある人が働けるところがほしい	32.5	28.1	27.5	18.0	19.8
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金・手当を増やしてほしい	48.3	55.1	54.3	38.5	36.8
社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい	43.6	40.1	34.6	29.5	33.9
法律や結婚などについての相談にのってほしい	11.6	8.5	6.8	6.1	4.8
道路・公園や建物、乗りものなどを障害のある人が利用しやすいようにしてほしい	18.3	16.8	10.3	14.7	11.5
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	13.4	9.5	10.6	9.7	9.1
公共交通機関の利用のしやすさ*3	30.4	25.6	-	-	-
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	-	27.5	27.5	20.5	15.4
障害のある人の家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	-	26.0	20.8	19.4	11.9
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい*4	-	-	-	-	10.5
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい*4	-	-	-	-	17.6
障害のある人に配慮した住まい（公営住宅等）がほしい*4	-	-	-	-	16.0
その他	5.1	3.6	4.1	6.1	4.4
不明・無回答	23.4	13.8	20.2	22.3	22.4
合計	319.2	359.8	339.5	306.4	306.9
n	785	755	764	278	495

\*1 平成18年以降追加項目

\*2 平成28年削除項目

\*3 平成18年以降削除項目

\*4 平成28年追加項目



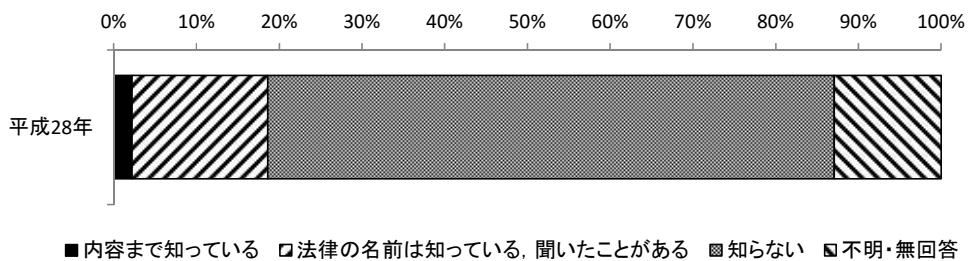
## ●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が68.5%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が16.4%、「内容まで知っている」が2.2%となっている。

### 問5 4 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成28年
内容まで知っている	2.2
法律の名前は知っている、聞いたことがある	16.4
知らない	68.5
不明・無回答	12.9
合計	100.0
n	495



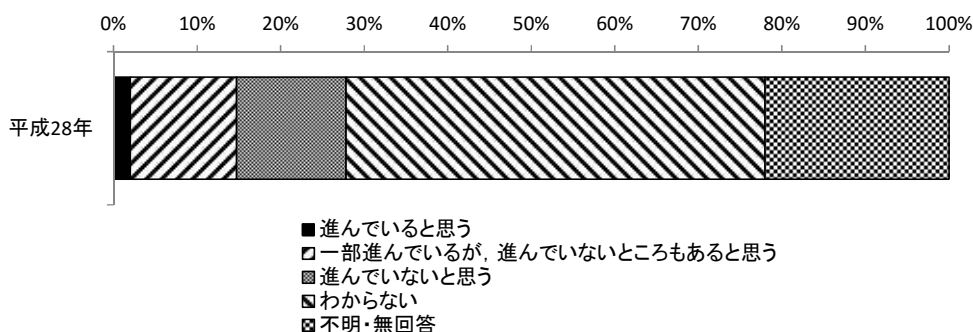
## ● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が50.1%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が13.1%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が12.7%、「進んでいると思う」が2.0%となっている。

問55-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	2.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	12.7
進んでいないと思う	13.1
わからない	50.1
不明・無回答	22.0
合計	100.0
n	495

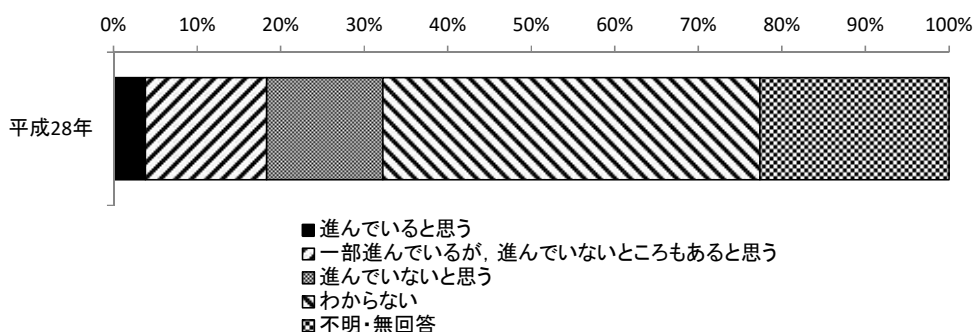


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「わからない」が45.1%で最も高く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が14.5%、「進んでいないと思う」が13.9%、「進んでいると思う」が3.8%となっている。

問55-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.8
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	14.5
進んでいないと思う	13.9
わからない	45.1
不明・無回答	22.6
合計	100.0
n	495

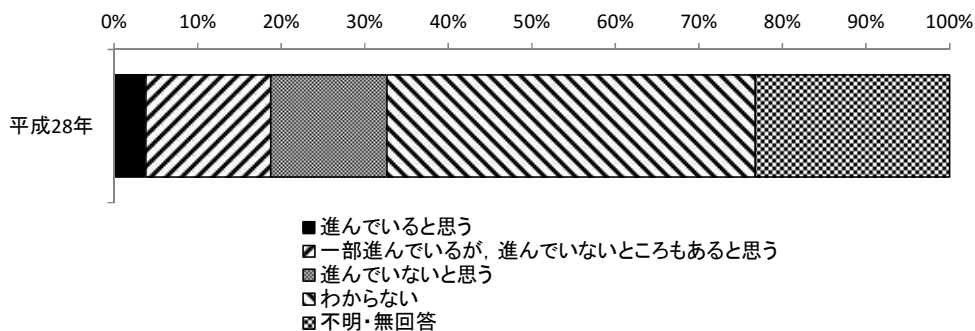


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が44.0%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が14.9%、「進んでいないと思う」が13.9%、「進んでいると思う」が3.8%となっている。

問55-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.8
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	14.9
進んでいないと思う	13.9
わからない	44.0
不明・無回答	23.2
合計	100.0
n	495

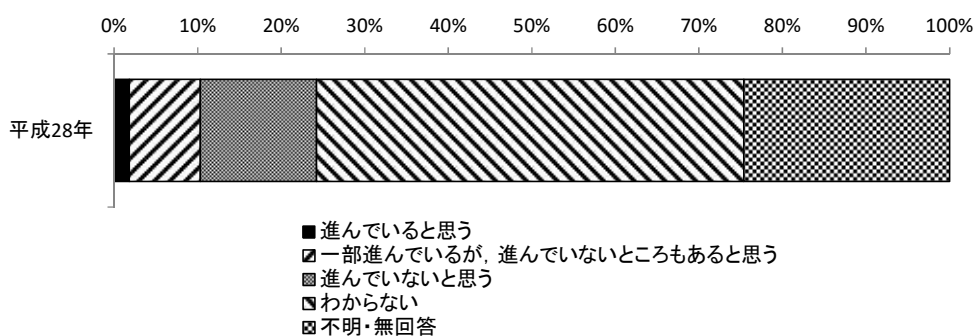


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が51.1%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が13.9%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が8.5%、「進んでいると思う」が1.8%となっている。

問55-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.8
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	8.5
進んでいないと思う	13.9
わからない	51.1
不明・無回答	24.6
合計	100.0
n	495

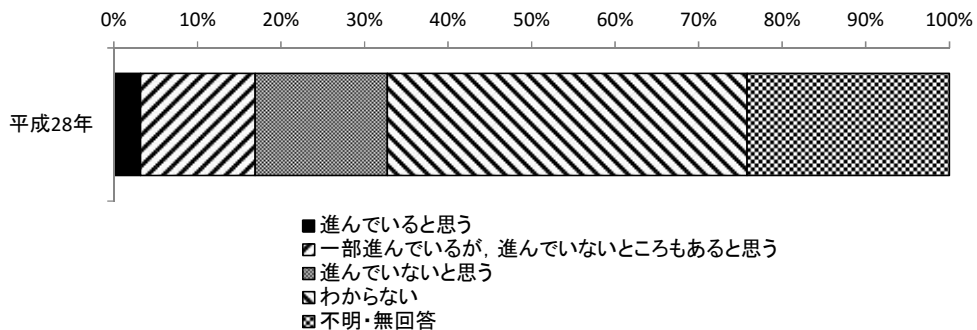


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が43.0%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が15.8%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が13.7%、「進んでいると思う」が3.2%となっている。

問55-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.2
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	13.7
進んでいないと思う	15.8
わからない	43.0
不明・無回答	24.2
合計	100.0
n	495

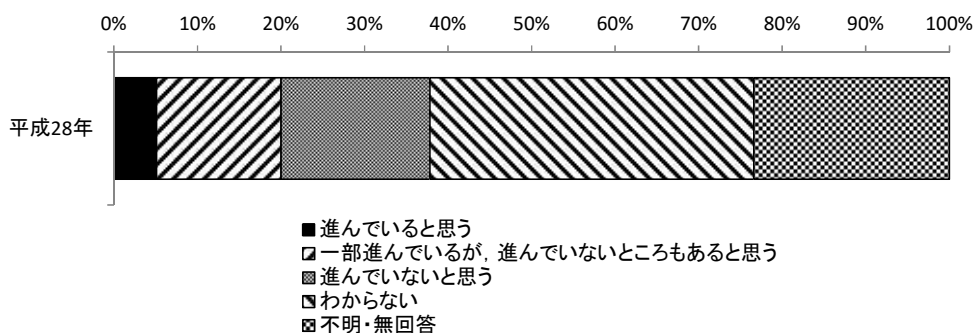


人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「わからない」が38.8%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が17.8%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が14.9%、「進んでいると思う」が5.1%となっている。

問55-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.1
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	14.9
進んでいないと思う	17.8
わからない	38.8
不明・無回答	23.4
合計	100.0
n	495



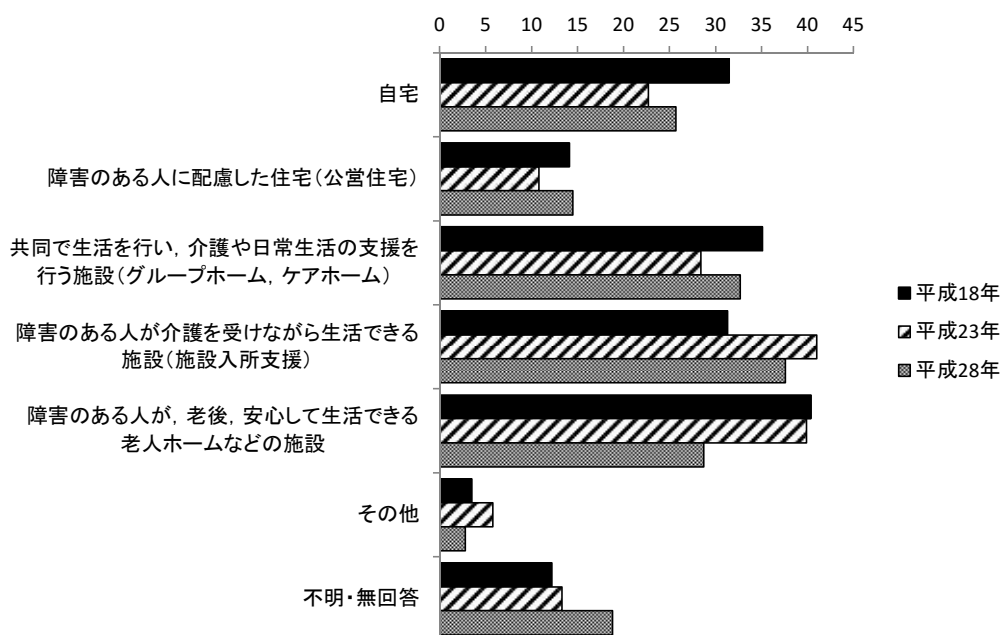
## ●御家族による回答

家族と同居できない場合にふさわしいと思う居住地（複数回答）については、「障害のある人が介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）」が37.6%で最も多く、次いで「共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム、ケアホーム）」が32.7%となっている。

### 問58 家族と同居できない場合にふさわしいと思う居住地（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
自宅	31.5	22.7	25.7
障害のある人に配慮した住宅（公営住宅）	14.1	10.8	14.5
共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム、ケアホーム）	35.1	28.4	32.7
障害のある人が介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	31.3	41.0	37.6
障害のある人が、老後、安心して生活できる老人ホームなどの施設	40.4	39.9	28.7
その他	3.5	5.8	2.8
不明・無回答	12.2	13.3	18.8
合計	168.2	161.9	160.8
n	764	278	495



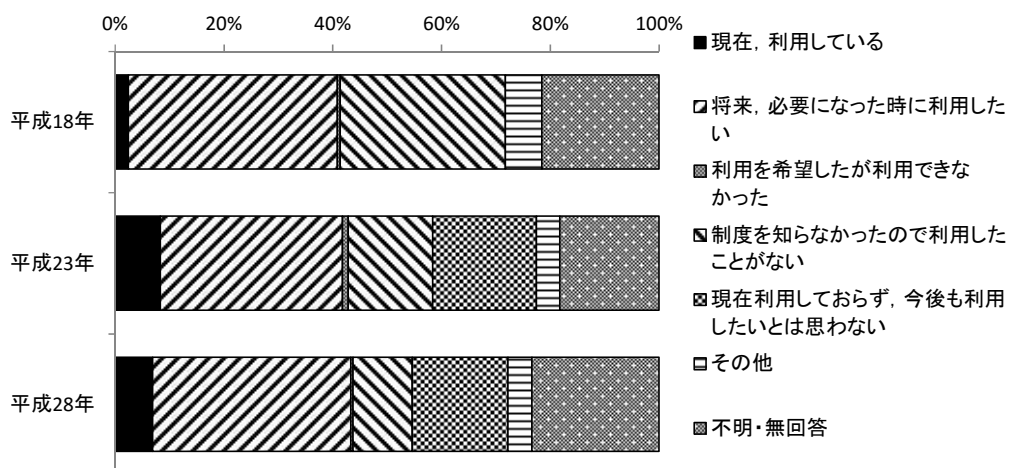
成年後見制度の利用状況については、「将来、必要になった時に利用したい」が36.4%と最も多く、次いで「現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない」が17.6%となっている。

### 問60 成年後見制度の利用状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している	2.4	8.3	6.9
将来、必要になった時に利用したい	38.5	33.5	36.4
利用を希望したが利用できなかった	0.5	1.1	0.4
制度を知らなかったので利用したことがない	30.4	15.5	10.9
現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない*	-	19.1	17.6
その他	6.7	4.3	4.4
不明・無回答	21.6	18.3	23.4
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495

\* 平成23年追加項目





日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の利用状況については、「将来、必要になった時に利用したい」が26.9%と最も多く、次いで「制度を知らなかったので利用したことがない」が19.8%となっている。

### 問62 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している	3.9	9.4	11.3
将来、必要になった時に利用したい	27.4	21.6	26.9
利用を希望したが利用できなかった	0.5	0.7	0.4
制度を知らなかったので利用したことがない	36.9	29.5	19.8
現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない*	-	13.7	13.7
その他	5.2	2.5	3.0
不明・無回答	26.0	22.7	24.8
合計	100.0	100.0	100.0
n	764	278	495

\* 平成23年追加項目

